

①取組主体

名称 : 相原嘉寿雄 (花き生産者)  
担当窓口 : 住所 愛媛県松山市

団体等の種類 : 農林漁業者  
構成員数 : 1人  
活動内容を紹介するHP、情報誌等の有無 : 無

②連携している団体等の有無 : 有

→ (有の場合) 連携している団体の属性 (複数回答可、主な団体等のみ) :  
学校

③取組地域 愛媛県松山市

④取組開始時期・経緯 (動機含む)

取組開始時期 : 平成10年頃～  
経緯 : 「自家農園を利用して、子供たちが花や緑と触れ合う機会を提供」したいと考えていた同氏が、地元小学校と協力し、生活科や総合的な学習の時間の授業の一環として、取組を開始。



⑤目的 (目標)

花や緑と触れ合う体験によって、児童の情操面の向上を図ることはもちろんのこと、花や緑を媒介として農業者と児童、教師、保護者の出会いの場を設け、人と人とのつながりを深めていく。  
ふるさと「雄郡」の地域の良さを知る。

⑥参加者数・属性推移

松山市立雄郡小学校2、3年生が参加 (平成18年度)  
1学年約60人、計120人程度が参加 (20名程のグループに分かれて来園。付き添いとして教師、保護者も数名参加)。

⑦経費

特になし (自家農園で栽培している花を利用するため)。

### ⑧具体的な取組内容

概要（関係者の連携方法・地域との関わり等含む）

関係者との連携方法については、恒例の行事となっているため、小学校の関係者と主に電話等で連携している。

その取組については、農園にて実際に花に触れながら、その花の歴史、鑑賞方法、栽培方法などを説明する。

1回の来園児童数を20名程に抑えることにより、できる限り一人一人の生徒と接する時間を確保している。

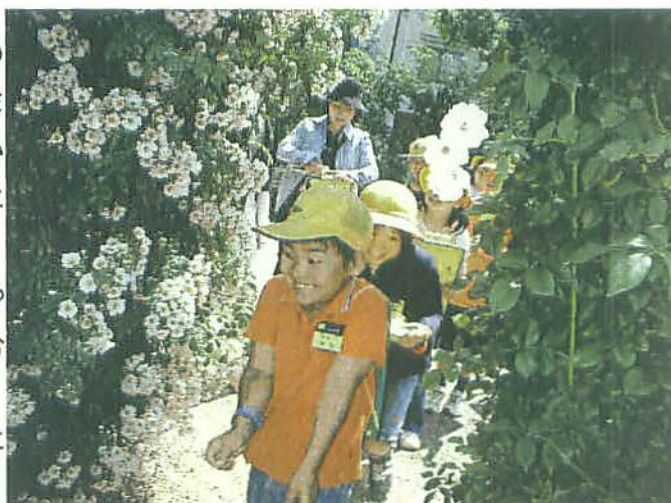
参加した教師、保護者に対しては、より詳細に栽培方法等について説明することで、学校や家庭において花に親しんでもらえるよう努めている。

後日、参加者から取組の話聞き、農園を訪れたいと希望する地域の方も受け入れている。

### ⑨これまでの成果（参加者の反応を含む）

児童が、学校内で育てている花の世話を熱心に行うようになった。また、放課後や休日に農園を訪れたいと希望するなど、生徒等の花や緑に対する関心の高まりを感じている。さらに、この取組に参加した教師や保護者が、学校や家庭で花に親しむ機会が増えた。

学校や地域において、花づくりによる環境の美化・改善が進んでいる。



### ⑩今後の構想、課題

今後は、このような取組を通じて、子供から高齢者までのより多くの人々が花や緑を用いて、心豊かな交流ができるような活動を行いたい（公園、道路、河川敷などでの花壇づくり、清掃等）。

### ⑪その他